

2026年 新年号

せせらぎ

No. 516

水 を 大 切 に



編集・発行
福岡市管工事協同組合
広報・企画・情報委員会
〒810-0016
福岡市中央区平和3丁目20-10
TEL 092-531-3066 FAX 092-522-5287
メール(総務) fukukankyou@fuku-kan.com
URL <https://www.fuku-kan.com>

丙午

ひのえ うま

「丙」と「午」はともに火の属性を持ち

情熱と行動力が高まる前向きな

一年とされています

新たな挑戦や飛躍の機会に恵まれやすく

変化を前向きに受け入れながら 落ち着いた判断で

一歩踏み出すことが良い流れにつながるでしょう



位置

北緯 33°25'17" ~ 33°52'17"
東経130°02'06" ~ 130°29'50"

東京(約900キロ)、大阪(約500キロ)よりも韓国・釜山(約200キロ)の方が近いという、この地理的条件から古来より大陸への玄関口としての役割を担ってきました。

面積

343.39km²
明治22年の市制施行時の面積は5.09km²。100年で約66倍に広がったこととなります。

人口

1,671,778人
男/789,266人 女/882,512人
905,867世帯
(令和7年11月1日現在推計)

福岡はこんな街

福岡市ミニデータ

福岡市章
現在の福岡市章は、明治42年10月に制定されました。かたかなの「フ」を9個組み合わせで「福」を表しています。

●福岡市の4つの都市像

福岡市は、まちづくりの目標として次の4つの都市像を掲げました。強い意志とたゆまぬ努力をもって、この都市像の実現をめざします。

1. 自律し優しさを共有する市民の都市
2. 自然を生かす快適な生活の都市
3. 海と歴史を抱いた文化の都市
4. 活力あるアジアの拠点都市

目次

1. 謹賀新年 1

2. 年頭のご挨拶(藤理事長) 2

3. 新年のご挨拶(高島市長) 3

4. 新年のご挨拶(大森顧問) 4

5. 新年のご挨拶(中村水道事業管理者) 5

6. 新年のご挨拶(竹廣道路下水道局長) 6

7. 新年のご挨拶(全管連藤川会長) 7

8. 令和8年新年賀詞交歓会盛会裡に開催 9

9. 理事会報告・・・12/8 定例、1/8 定例 11

10. 官庁だより
NO.1 令和8年度福岡市排水設備工事責任技術者の登録申請について(福岡市道路下水道局)・・・ 13

11. 青年部会だより
新年のご挨拶(青年部会藤岡会長) 15

12. 令和7年度後期 技能検定試験水準調整会議開催・後期技能検定配管実技試験実施 16

13. 緊急連絡・指令模擬訓練実施 18

14. シリーズ 命の水を求めて 19

15. 交通安全コーナー・・・贖いの日々(大罪) 23

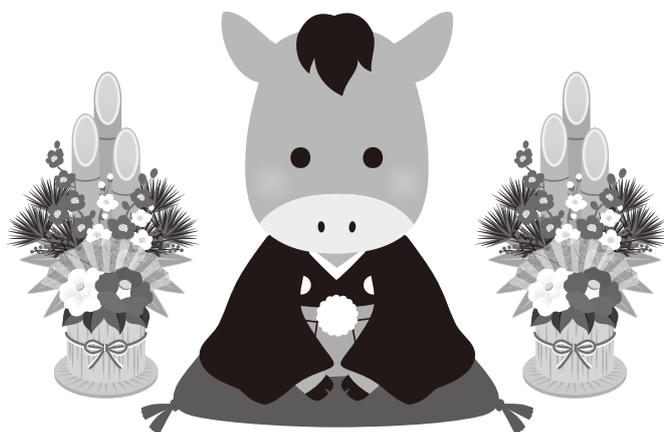
16. 組合のうごき 24

謹 賀 新 年

2026年 元旦

福岡市管工事協同組合

理 事 長 藤 成 徳
副 理 事 長 松 尾 浩 充
副 理 事 長 岩 下 達 也
総務部長理事 大 久 保 秀 則
事業部長理事 川 浪 弘 之
上水道部長理事 松 本 勝 海
上水道担当理事 八 木 廣 光
下水道部長理事 宮 寄 広 見
下水道担当理事 小 金 丸 剛
専 務 理 事 江 頭 孝 一



組 合 員 一 同

職 員 一 同

年頭のご挨拶



理事長 藤 成 徳

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えることとお慶び申し上げます。組合員の皆様には、平素より、ご支援、ご厚情を賜り厚く御礼を申し上げます。

昨年は、観測史上でも異例の高温が続き、猛暑、豪雨、災害が各地で深刻化しました。この流れは1年で終わることなく、2026年も気候変動が継続し、さらに影響が広がる可能性が指摘されています。気温上昇や異常気象は生活の不便さに止まらず、通勤、健康、仕事効率、生活コスト、災害リスクとあらゆる場面に影響する現実的な問題になっています。個人も企業も気候リスクを前提として考えることが必要となってきました。

組合は、人が生活するうえで必要不可欠な水の提供をはじめ、ライフラインを維持するという重要な役割を担っています。これからも、市民生活に貢献できる組合組織の強化、また、その役割を果たし続けるための経営の安定化に向け、取り組んでいきたいと考えております。昨年末に、子会社R&D Fukuokaを発足させましたが、これもその一環であります。

さて、人手不足が企業に与える影響が、一段と深刻化しています。残業の上限規制が強化されたことで、少子高齢化を背景に深刻化する労働力不足に拍車をかけ、人材の争奪戦が激化、賃金面で大手企業に太刀打ちできない中小零細企業の人手不足を悪化させています。高市首相は厚生労働大臣に労働時間規制の緩和を指示されています。社員の仕事が減った分、管理職への負担集中し、会社で残業できなかったのが家に仕事を持ち帰る、隠れ残業が増えています。働きたい人が健康を守りながら、自分で選んで働けるというのが、当たり前のことと思います。

午年は力強さや前進を意味し、変化を恐れずに新しい挑戦に踏み出す年とされています。消費が喚起され、国内景気が活発化し、経済の好循環が生まれる明るい年になりますことを祈念し、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



福岡市長 高島 宗一郎

あけまして、おめでとうございます。新年の始まりにあたり、謹んでお喜びを申し上げます。

福岡市管工事協同組合の皆さまには、上下水道をはじめ、給排水や空調設備の整備など、豊かで快適な市民生活のために、日々ご尽力いただき、深く感謝申し上げます。

昨年は、福岡空港に新たな滑走路が整備され、また、天神ビッグバンでは多くのビルが完成を迎えるなど、福岡市の勢いを実感できる一年でした。この勢いは結果にも表れており、福岡の人口は167万人を超え、人口増加数及び日本人増加数は全国1位となっています。今年も、この流れをさらに加速させ、次世代に誇れる未来を築く一年とすべく、様々なチャレンジに取り組んでまいります。

都心部では、天神ビッグバンが、プロジェクト開始から10年が経ち、当初の想定を大きく上回る規模で、最先端のビルが次々に誕生しています。博多コネクティッドにおいても先進的なビルへの建替えが着実に進んでおり、都市機能の一層の充実が図られています。新しく生まれたビルに高付加価値なビジネスを呼び込み、若い世代が自己実現できる舞台を増やすことで、福岡を「より大きな夢が叶うまち」へとアップデートさせていきます。

この生まれ変わる街に、花や緑、アートといった付加価値を取り入れていきます。今年Park-PFIを活用した魅力的な公園が続々オープンするなど、緑に親しみ、憩える空間が広がります。また、3月には「Fukuoka Flower Show2026」を開催し、会場の植物園に加え、商業施設や店舗にもご協力いただき、街なかを花で彩ります。さらに、アートあふれる街を目指して、Fukuoka Art Next」を推進していきます。

このほかにも、身近な自然の魅力を高める「Fukuoka East & West Cost」や「Fukuoka Green NEXT」、水辺を生かしたまちづくり「リバーフロント NEXT」など、都市の多彩な魅力を高めるプロジェクトを進行しています。

今、日本は人口減少や少子高齢化、働き手不足など、様々な社会課題に直面しています。社会構造が目まぐるしく変化する今だからこそ、スピード感をもって、柔軟に、しなやかに、挑戦を続けてまいりたいと考えておりますが、皆さま方のお力添えが不可欠です。「人」と「環境」と「都市活力」がより高い次元で調和したアジアのリーダー都市を目指して、2026年も変化を恐れず、新たなチャレンジを続けてまいります。

最後に、福岡市管工事協同組合の皆さまの今年一年のご健勝とご活躍を心から祈念し、新年のあいさつとさせていただきます。

新年のご挨拶



福岡市管工事協同組合顧問
福岡市議会議員 大森 一馬

新年、あけましておめでとうございます。

組合員の皆さまにおかれましては、健やかに新年をお迎えのことと心よりお慶び申し上げます。

また日頃より、市政への深いご理解と、温かいご支援・ご協力に対し、厚く御礼を申し上げます。

さて、福岡の都心部では、複数の再開発ビルが次々と完成を迎え、まちが近代的なビジネス・商業エリアへと変貌を遂げつつあるほか、人口増加とインバウンドも好調で、昨年度の市税収入は、過去最高を記録しました。

これらの出来事は、福岡市が経済的に活気づき、文化的な魅力も高まっていることを示しており、「住みたい街」でも6年連続で全国1位となるなど、市民にとっても喜ばしいことと思っております。

一方で、物価高騰や技術者・技能者の不足、そして作業員の高齢化など、組合員の皆さまを取り巻く環境は非常に深刻かつ厳しい状況であると認識しております。

上下水道は生活に必要不可欠な重要なライフラインですが、安全な水の安定供給を維持していくためには、その基盤の強化を推進していかなければなりません。

様々な社会情勢を踏まえ、技術や知見の継承と「新しい技術などの積極的活用」、「作業員の高齢化や作業員不足に対応する効率化」「働き方改革」などに、果敢にチャレンジすることで、未来を担う若者たちにとって、魅力と誇りを感じられる環境を創造できると信じております。

今後とも、地場中小企業の支援対策の促進に一層の努力を重ねてまいりたいと考えておりますので、皆さまにおかれましても引き続きご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が福岡市管工事協同組合並びに組合員の皆さまにとりまして、幸多き一年となりますよう、心よりお祈り申し上げ、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



福岡市水道事業管理者 中村 健児

新年、あけましておめでとうございます。

福岡市管工事協同組合の皆さまにおかれかれましては、健やかに新春をお迎えのこととお慶び申し上げます。

日頃より、本市水道事業の推進に格別のご高配を賜り、厚く御礼申し上げます。

さて、昨年は、水道管の老朽化による大規模な漏水事故が、京都市や大阪市などの各地で発生し、水道施設の維持・更新に対する社会的関心が多く寄せられる年となりました。

また、8月末には九州の広範囲で相次ぐ線状降水帯による大雨が、12月には青森県で震度6強の地震が発生するなど、自然災害の頻発化・激甚化は全国的な問題となっております。

また10月には、福岡県から「地震に関する防災アセスメント調査」による警固断層帯の被害想定見直しが発表されたこともあり、本市におきましても、引き続き、耐用年数を超過した老朽管の更新に加え、一時避難所などを対象施設に震災時でも水道水を届けられるよう、給水ルートを耐震化する「第2次耐震ネットワーク工事」にも、しっかりと取り組んでまいります。

一方で、水道事業を取り巻く環境は、物価高騰や次世代を担う若手人材の不足などにより、厳しい経営状況が続いておりますが、このような中でも、将来にわたって安全で良質な水道水を安定的に供給し続けることが、水道事業者としての使命であることを深く受け止めております。そのため、老朽化した配水管の計画的な更新や耐震化に加え、浄水場の再編などを着実に進めると同時に事業運営のあらゆる分野で、IoTやAI等の先端技術の活用を図り、生産性の向上にも全力で取り組むなど、効率的な事業運営を進めてまいりますので、今後とも、より一層のご支援・ご協力を賜りますよう、よろしくお願い申し上げます。

結びに、本年も福岡市管工事協同組合の皆様にとって、幸多い年となりますよう、心から祈念いたしまして、新年のご挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



福岡市道路下水道局長 竹 廣 喜一郎

新年あけましておめでとうございます。

福岡市管工事協同組合の皆様方におかれましては、ご家族ともども
幸多き新春を迎えられたこととお慶び申し上げます。

また、日頃から本市下水道事業の推進に多大なご支援とご協力を賜り
厚くお礼申し上げます。

下水道は、浸水対策やトイレの水洗化などを通じ、市民に安全で快適な生活環境を提供するとともに、海や河川などの公共用水域の水質保全に欠くことのできない重要な役割を担っております。

本市の令和6年度末の下水道人口普及率は99.7%に達し、水洗化率も99.8%に達しました。これも長年にわたる皆様方のご尽力の賜と心より感謝申し上げます。

さて、近年、自然災害の激甚化・頻発化、地球温暖化の進行や物価の高騰、埼玉県八潮市での下水道管の破損による大規模な道路陥没の発生など、社会は新たな課題に直面しており、下水道にもこのような課題の解決に向けた積極的な取組みが求められています。

このような中、本市では、下水道サービスを将来にわたり安定的に継続するため、令和7年度から4年間を計画期間とする「福岡市下水道経営計画2028」を策定しており、老朽化施設の改築更新を計画的に実施していくとともに、浸水対策や地震対策にも重点的に取り組むこととしています。また、都心部については、市民生活や都市機能へ与える影響が大きいことから、最優先で改築更新に取り組むとともに、「都心部下水道主要施設再構築プラン」に基づき、ポンプ場や幹線管渠等の複数の施設について再構築を進めていきます。

さらに、SDGsの理念を踏まえ、下水道から生み出される様々な資源の有効活用を図り、脱炭素・循環型社会への貢献など社会課題の解決にも積極的に取り組んでいます。

皆様方におかれましては、市民のニーズが多様化する中、第一線の現場で日々きめ細やかにご対応いただいていることに敬意を表します。引き続き、皆様方と連携を密に図りながら、市民生活に欠くことのできない財産である下水道をしっかりと守り抜き、「次世代に誇れるまち」へ、確実な積み重ねをしてまいり所存でございます。皆様方のより一層のご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、福岡市管工事協同組合の皆様方の益々のご発展とご活躍を心からお祈りいたしまして、新年の挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶



地域・人・未来を見据え、
誇りある業界づくりを推進しよう
全国管工事業協同組合連合会
会長 藤川幸造

新年あけましておめでとうございます。

皆様には、健やかに新春をお迎えのことと謹んでお慶び申し上げます。

平素より本連合会の事業運営に格別のご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年を振り返りますと、全国各地で気候変動が引き起こす自然災害により、河川の氾濫や土砂災害、広範囲に及ぶ浸水被害など、甚大な被害をもたらされました。年末には、青森県八戸市で震度6強の地震が発災して断水などの被害がございました。今や水道の漏水事故等の報道は珍しいものではなく、当たり前のように取り上げられて住民生活に大きな影響を及ぼしています。上下水道インフラの老朽化の進行は、社会問題として顕在化してきているといえます。言うまでもなく地域の安全・安心な暮らしを支えるインフラの維持管理は、まさに待ったなしの課題であります。その最前線に立つのが、私ども管工事業者です。災害時には「命の水を届ける」応急復旧、平常時には地域インフラの維持・強化、まさに地域社会の守り手として、我々の責任はますます重みを増していると感じております。

昨年10月に就任した金子恭之国土交通大臣は、国民の安全・安心の確保を最優先課題に掲げ、国交省の所管分野の政策課題への対応を進め、「防災・減災、国土強靱化の取り組みを全力で推進する」との姿勢を示されました。

基幹管路の耐震化、老朽施設の更新、広域連携の推進などの課題が山積する中、特に人口減少と財政制約のもとで、効率的な施設運営と技術継承を両立させることが肝要となっております。本会としても行政や水道事業体と連携し、施工品質の確保、担い手確保、人材育成の強化に取り組んでまいります。

こうした中、令和6年能登半島地震の応援活動における教訓や課題を整理し、更なる災害対応力の強化を図るため、日本水道協会では「地震等緊急時対応の手引き」を令和7年4月に改訂しました。本会では、この手引きの改訂や復旧活動に出動した団体へ実施したアンケート等を踏まえ、「地震等緊急時における応急復旧工事対応マニュアル」を大規模な広域災害時における応急復旧工事対応に焦点を当てた見直しを行い、より円滑な復旧支援体制を構築してまいります。

そのためにも現場の声を踏まえ、平常時からの水道管路更新・耐震化工事に従事および工事時期の平準化と適正工期確保、設計変更・工期延長への柔軟な対応への配慮等、十分な水道予算の確保や業界に資する支援を今後も粘り強く国や自由民主党水道事業促進議員連盟を初めとする国会議員

の先生方に関係機関に要望してまいります。

また、その一方で、とりわけ管工事業界は厳しい状況下であり、後継者問題も深刻の一途をたどっています。若い世代にこの仕事の魅力を伝え、「やりがいのある職業」として選んでもらうことが喫緊かつ最大の課題であります。管工事という業種の社会的地位向上に努め、水を届けるという意義ある仕事だという良いイメージにつながるように変革していきたいと思っています。そのためには、広報活動の強化、働き方改革の推進、デジタル技術の導入など、新たな取り組みを積極的に進めていく必要があります。

昨年の12月には、改正建設業法が完全施行されました。改正により適正な水準の労務費が公共工事・民間工事に関わらず、受発注者間、元請ー下請間、下請間のすべての段階において確保され、技能労働者の賃金として支払われることが図られるとして、強く期待を寄せているところです。

さて、去年は本会初となる通常総会と全国大会の分離開催という新たな試みでしたが、皆様のご協力により全国より多くのご参加をいただき盛会裏に開催することができましたことを改めて感謝申し上げます。本年も分離開催となり、全国大会は9月8日に神奈川県横浜市のみなとみらい21で開催されます。開催地・横浜市を擁する関東ブロックの神奈川県管工事協同組合連合会(会長・石田 隆氏)に運営をご担当いただきます。神奈川県連においては、参加される方々を迎える準備を進めておりますので、全国から会員各位の多数の方々のご参加を賜りますようお願い申し上げます。

結びに、本年が地域社会の安全・安心な暮らしを支える管工事業界にとって、より一層信頼される存在となり、会員団体の一層のご発展と所属員各位の事業のご繁栄を祈念申し上げ、年頭の挨拶といたします。

令和8年 新年賀詞交歓会盛会裡に開催

日時 令和8年1月8日(木)午後6時

場所 ソラリア西鉄ホテル



藤理事長挨拶

あけましておめでとうございます。皆様には、健やかに新しい年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

本日は、公務ご多忙のなか、福岡市副市長光山様をはじめ、市議会議員の先生方、関係各局の皆様のご臨席を賜り誠に有難うございます。ご来賓の皆様には、平素より、ご支援、ご厚情を賜り厚く御礼を申しあげます。また日頃、資機材のお取引をいただいております賛助会員の皆様にも多数のご出席をいただき心より御礼を申し上げます。

昨年は、異例の高温が続き、猛暑、豪雨、災害が各地で深刻化しました。2026年も気候変動が継続し、さらに影響が広がる可能性が指摘されています。気温上昇や異常気象は生活の不便さに止まらず、健康、仕事効率、生活コスト、災害リスクとあらゆる場面に影響する現実的な問題になっています。個人も企業も気候リスクを前提として考えることが必要になってきています。

組合は、人が生活するうえで不可欠な水の提供をはじめ、ライフラインを維持するという重要な役割を担っています。これからも、市民生活に貢献できる組合組織の強化、また、その役割を果たし続けるための経営の安定化にむけ、取り組んでいきたいと考えております。昨年末に、子会社R&D Fukuokaを発足させましたが、これもその一環であります。

午年は力強さや前進を意味し、変化に恐れずに新しい挑戦に踏み出す年とされています。消費が喚起され、国内景気が活発化し、経済の好循環が生まれる明るい年になりますことを祈念し、皆様方のご健勝、ご多幸を心からお祈り申し上げ、年頭のご挨拶とさせていただきます。



挨拶 光山副市長



乾杯音頭 中村水道事業管理者



万歳三唱 竹廣道路下水道局長



会場の様子

第6回 定例理事会報告

日 時 : 令和7年12月8日(月)午後1時30分より
場 所 : 福岡市管工事協同組合会議室
出席者 : 藤、松尾、岩下、大久保、川浪、松本、宮崎、八木、江頭
委任者 : 小金丸

定刻に至り、事務局より本日の出欠状況を報告、藤理事長、挨拶後議長に就任し議案の審議に入った。

【協議事項】

第1号議案 ガイドブック 経過報告について

事務局－現在取り組んでいる水道施設維持管理ガイドブックについての進捗状況、現在の課題と対応、今後の動きを報告した。
(出席理事全員了承)

【報告事項】

1. 寒波による緊急時の協力依頼について

事務局－福岡市水道局から10月22日付で寒波等による水道管や水道メーターの凍結及び破裂事故の発生時に修理等の迅速な対応の協力依頼があった。組合員の協力のもと災害時(寒波)における組織・動員体制を整え対応する。尚、組合員69社130台の駐車許可申請があった旨報告。
(出席理事全員了承)

2. 令和8年度資材見積提出について

事務局－令和8年度資材見積を取引メーカー及び商社(計28社)に依頼する旨報告。
(出席理事全員了承)

3. 緊急連絡指令模擬訓練について

事務局－平成17年3月に福岡市水道局と締結した「災害時における水道の応急対策に関する協定書」に基づき、令和7年12月15・16日に緊急連絡・指令模擬訓練を福管協理事9名、メンテナンス登録業者11社、資機材メーカー・商社25社(水道施設等の応急復旧に要する資材の供給協力協定締結会社)参加のもと実施する旨報告。
(出席理事全員了承)

4. 職員の冬季賞与について

大久保総務部長理事－12月10日に支給する旨報告。
(出席理事全員了承)

5. 令和8年度新年賀詞交歓会開催について

藤理事長－令和8年度の賀詞交歓会を令和9年1月7日(木)ソラリア西鉄ホテルで開催する旨説明。
(出席理事全員了承)

引き続き、組合のうごき、今後の予定を説明。
本日の全ての案件を終了した。時に午後2時05分。

第7回 定例理事会報告

日 時 : 令和8年1月8日(木)午後5時00分より
場 所 : ソラリア西鉄ホテル8階
出席者 : 藤、松尾、岩下、大久保、川浪、松本、八木、宮崎、小金丸、江頭
定刻に至り、事務局より本日の出欠状況を報告、藤理事長、挨拶後議長に就任し議案の審議に入った。

【協議事項】

第1号議案 新年賀詞交歓会に関する件

事務局－本日開催の新年賀詞交歓会の進行及び出席状況を説明、諮る。
藤理事長－協議の結果、説明通りで出席理事全員の承認を得た。

第2号議案 令和8年度新年賀詞交歓会開催日に関する件

事務局－令和8年度の賀詞交歓会を令和9年1月7日(木)ソラリア西鉄ホテルで開催する旨説明、諮る。
藤理事長－協議の結果、説明通りで出席理事全員の承認を得た。

【報告事項】

1.ガイドブックの件について

事務局－現在取り組んでいる水道施設維持管理ガイドブックについての進捗状況、現在の課題と対応、今後の動きを報告。
(出席理事全員了承)

2.組合員外の掘削申請手数料の振込(現金払い)について

事務局－掘削申請業務において、これまで組合員外からの支払いは振込でも対応していたが、問題が発生したため、今後は振込を廃止し、現金払いのみとする旨報告。
(出席理事全員了承)

3.令和8年度穿孔工事施工業者公募について

事務局－令和8年度穿孔工事施工業者公募をする旨報告。
(出席理事全員了承)

4.令和8年度単価契約漏水発生給水管修理請負工事業者公募について

事務局－令和8年度単価契約漏水発生給水管修理請負工事業者公募をする旨報告。
(出席理事全員了承)

5.令和8年度給排水メンテナンスセンター施工業者公募について

事務局－令和8年度給排水メンテナンスセンター施工業者公募をする旨報告。
(出席理事全員了承)

本日の全ての案件を終了した。時に午後5時20分。



官庁だより
No.1

●組合員各位には1月6日に通知しております。(公印省略)

下管第813号

令和8年12月23日

福岡市排水設備工事責任技術者
更新対象者様

福岡市長 高島 宗一郎
(道路下水道局下水道管理課)

令和8年度福岡市排水設備工事責任技術者の更新登録申請について(通知)

時下、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

平素から、本市下水道行政の推進につきましては、排水設備工事責任技術者としてご尽力をいただき厚くお礼申し上げます。

さて、令和8年度排水設備工事責任技術者の更新登録申請受付を下記のとおり実施しますので、引き続き登録を希望される場合は、登録申請手続きをお願いいたします。

記

1. 受付期間 令和8年1月19日(月)～令和8年1月27日(火) (土日祝日を除く)
2. 受付場所 道路下水道局管理部下水道管理課
福岡市中央区天神1丁目8番1号(福岡市役所：本庁舎6階)
3. 提出方法
 - ・窓口提出(窓口受付時間 9:30～11:30、13:00～16:00)
※申請書の提出は代理の方でも構いません。
 - ・郵送提出(簡易書留またはレターパックで郵送してください)
※令和8年1月27日(火)下水道管理課必着
 - ・オンライン提出
令和8年1月19日(月)から福岡市ホームページの「責任技術者制度について」に申請フォームを掲載いたしますのでそちらをご確認ください。
※福岡市ホームページで「責任技術者制度」と検索いただければ、「責任技術者制度について」のページにアクセスできます。
4. 更新対象者 福岡市排水設備工事責任技術者証の有効期限が令和8年3月31日までの方

裏面に続く

5. 申請（更新）に必要な書類

（窓口提出、郵送提出）

- ①福岡市排水設備工事責任技術者登録申請書（様式第3号）：同封資料
※福岡市ホームページで「福岡市責任技術者登録申請書」と検索いただければ、申請書をダウンロードできます。
- ②福岡県下水道排水設備工事責任技術者更新講習修了証の写し（コピー）
- ③現在お持ちの福岡市排水設備工事責任技術者証の写し（コピー）
※責任技術者証の両面（表面、裏面）をコピーしてください。
- ④写真2枚（横2.4 cm×縦3.0 cm、申請前6月以内に撮影した上半身、脱帽したものに限ります。）
※内1枚は申請書に貼付してください。
※写真は2枚とも裏面に氏名および福岡市排水設備工事責任技術者登録番号を記入して下さい。

（オンライン提出）

- ①福岡市排水設備工事責任技術者登録申請書（様式第3号）：同封資料
※福岡市ホームページで「福岡市責任技術者登録申請書」と検索いただければ、申請書をダウンロードできます。
写真（申請前6月以内に撮影した上半身、脱帽したもの）を貼り付けて、提出してください。【ファイル形式：docx（Wordデータ）】
※写真は枠内に綺麗に合うように貼り付けしてください。
- ②福岡県下水道排水設備工事責任技術者更新講習修了証の写し（スキャン）
（ファイル形式：PDF）
- ③現在お持ちの福岡市排水設備工事責任技術者証の写し（スキャン）
（ファイル形式：PDF）
※責任技術者証の両面（表面、裏面）をコピーしてください。
- ④写真データ（ファイル形式：jpg、jpeg）
（申請前6月以内に撮影した上半身、脱帽したものに限ります。）

6. 今後の流れ 登録申請された方には、登録案内書を3月31日に発送いたします。同封の納付書にて手数料をお支払いされた後、『福岡市排水設備工事責任技術者証』を交付いたします。

<お問い合わせ先>

福岡市道路下水道局管理部下水道管理課
排水設備係

電 話 0 9 2 - 7 1 1 - 4 5 3 4

新年のご挨拶

福岡市管工事協同組合青年部会
会長 藤岡 昭太

新年あけましておめでとうございます。謹んで新年のご挨拶を申し上げます。

皆様におかれましては新しい夢と希望をもって、新年をお迎えのこととお慶び申し上げます。

また、昨年の出来事といたしましても、世界各国の夢と希望が詰まった大阪・関西万博の開催スポーツの世界からも日本人選手の活躍が大いに目立った2025年だったのではないかと思います。

水道事業でもデジタル化、DX(デジタルトランスフォーメーション)の取り入れ、漏水対策、予知保全、データ分析のAI・スマートモニタリングの導入など、近未来の課題がすぐ手に届くところまで進化、発展している現代ではないかと気付かされたことだったと思います。

しかしながら、この新しい環境の中、様々なことに気付かされた日々を送った方々もおられたのではないのでしょうか。

現場においては、施工管理、写真管理のインターネットアプリの更なる普及に伴い、書類関係の簡素化、現場状況をオンタイムでデスク上でWeb閲覧するといった、今まで理想とはしていた事が実際に実施できる環境になりつつあるものの、現実にも目を向けると道路、水道、ガス、電気、通信、これらの老朽化に伴う工事に対する人材確保、資金確保、収益減、工事費増など、様々な事で苦悩されているかと思っています。

このように便利な世界、水道業界になってもやはり欠かせないのは「人」なのではないかと思っています。AIと人間の共存がテーマになりつつある現代において、喜怒哀楽を共存できるのはやはり「人」と「人」との共存が不可欠ではないかと、事業発展にも深く繋がってくることではないかと思案する日々でございます。

今後、その「人」と「人」との交流の大切さを私達、青年部会として何かできないか、水道施設は勿論のこと児童施設や県営市営施設などにも何か助けになれる事がないかなどを検討、模索しております。

私たち、青年部会はその為にも福岡市管工事協同組合に何ができ何をすべきかを一同真剣に考えており、それと同時に管工事業界を盛り上げていこうと前へ前へと進み続けます。

そして、管工事組合、業界発展の為、また次世代が加入したくなるような青年部会を目指し、精進してまいりますので何卒よろしくお願い申し上げます。

最後になりますが会員の皆様の御多幸と御健勝をお祈り申し上げますと共に、本年が皆様にとって素晴らしい一年になる事を祈念いたしまして年頭の挨拶に代えさせていただきます。

令和7年度 後期 技能検定試験水準調整会議開催

- 開催日時 : 令和7年12月2日(火)午前10時
場 所 : 福岡リーセントホテル
次 第 : (1) 福岡県職業能力開発協会挨拶
(2) 技能検定事務手引き説明
(3) 実技試験採点マニュアル説明

後期技能検定実技試験(建築配管)が福岡、久留米、北九州、飯塚の4会場で実施するにあたり水準会議が開催された。

先ず、各団体から推薦を受け、福管連から選出した技能検定委員として松本勝海、松本篤史委員(福岡)、中野委員(久留米)、三小田、入船委員(北九州)、宗委員(三井)、以上6名が福岡県知事から委嘱状を受けた。

令和7年度 後期技能検定配管実技試験

令和7年度建築配管技能検定実技試験が福岡人材開発センター(福岡市東区千早)で12月16、17、18日に実施され翌日の19日に採点が行われ、当組合青年部会研修企画委員会の石田委員長(㈱石田設備)、酒井委員(㈱和白設備工業)、恵村委員(㈱和白設備工業)と組合職員で、今回も試験会場の準備、試験用材料の手配、作品の採点等の補佐を担当した。

また、飯塚会場(ポリテクセンター飯塚)は12月21日、北九州会場(福岡職業能力開発促進センター)は1月17日、久留米会場(久留米人材開発センター)は1月27日の実施。



水圧による漏水検査

青年部会会員一覧

氏名	会社名	氏名	会社名
藤岡 昭太	(株)博東設備工業	藤根 天馬	(株)藤善設備工業
毛利 崇志	(有)毛利設備工業	田中 厚史	(株)豊友技建工業
田井 祐貴	(株)水設	檜崎 亮	(株)朝日プラント
石田 大輔	(株)石田設備	酒井 哲朗	(株)和白設備工業
中村 健一	(株)和白設備工業	田村 竜一	山陽設備工業(株)
今泉 貴行	(有)今泉設備工業	内山 雅彦	(有)マルコー設備
山崎 啓功	(株)山崎設備工業	恵村 真也	(株)和白設備工業
野崎 翔太	(株)野崎工業所	中川 久美	(株)白金
原田 剛	(株)サンワ商会	八木 陽暁	(有)八木工業
菰田 雅之	(有)菰田設備	有吉 徹郎	(株)西陵設備
八木 龍治	壱岐設備工業(有)	花田 明子	(株)花田設備
阿部 弘	(有)阿部商会	大久保拓真	(株)大伸設備
松尾 剛	(株)松尾管工		

青年部会 会員募集のお知らせ

青年部会では会員同士との交流や研修会等色々な事を計画・実施しております。
きっとあなた自身及び会社にとっても意義ある青年部会ですので多数のご入会をお待ち致しております。

現在会員数:25名

参加要領 ○組合員

○また組合員が推薦する

その企業内の者(1企業3名まで)

年会費:24,000円(入会金10,000円)

お問合せ先:福岡市管工事協同組合青年部会

(担当:竹浦)

電話:531-3066



緊急連絡・指令模擬訓練

平成17年3月に福岡市水道局と締結しております「災害時における水道の応急対策に関する協定書」に基づき、福岡市管工事協同組合理事、給排水メンテナンスセンター登録会社、協定締結メーカー並びに商社と緊急連絡・指令模擬訓練を実施しました。

記

日 時 令和7年12月15日(月)16日(火)8時30分～17時30分

内 容 緊急連絡・指令模擬訓練
1、事務局より、緊急連絡先(携帯電話等)へ発信
2、訓練参加者が応答(不在又は未応答はメッセージを残す)
3、応答又は折り返し電話を確認、時間等を記録し終了

訓練参加者

- ・ 福岡市管工事協同組合理事(9名)
- ・ 給排水メンテナンスセンター登録会社(11社)
- ・ 協定締結メーカー並びに商社(25社)

「水道施設等の応急復旧に要する資材の供給協力協定」H26.4締結

シリーズ 命の水を求めて

第2回 アフガニスタンから未来へ — 中村哲 希望の水路 —

(株)日本設備工業新聞社代表取締役社長 高倉克也

本会は、これまで水に関する内容を本誌「全管連ジャーナル」で紹介してきました。また、広く会員や関係団体から寄稿を頂き、その内容を周知しています。この度、本会からの依頼により、日本設備工業新聞社の高倉社長より「命の水を求めて」と題し、映画や本、テレビ等で水に係わる内容について寄稿を頂きましたので新連載として紹介いたします（全管連）。

国民の約9割が農業に従事するアフガニスタンでは2000年夏の大旱魃で農地が干上がり、大量の農民が難民と化した。戦火の絶えない不毛地帯で人々は飢餓に苦しみ、汚水を飲んだ子供たちは赤痢に感染して死んでいく。

朝から晩まで治療に明け暮れた。それでも患者は一向に減らない。「薬だけでは人々の健康は守れない」と中村哲（1946—2019）は思い知らされた。

清浄な水と十分な食糧さえあれば多くの命を救うことができる。中村は「アフガニスタン問題はまずパンと水の問題である」と発想を転換し、自分にできることを考えた。そして「100の診療所より1本の用水路を」を合言葉に荒廃した大地の根源的復興をめざす。

いちばん大切なのは命

福岡県福岡市で生まれた中村は九州大学医学部卒業後、病院勤務の傍ら登山と

昆虫採集を楽しむ日々を送っていた。原始の美しいモンシロチョウを見たくて山岳会のネパール遠征隊に同行する。ところが思いがけず現地の人々から医師として頼られ、自分の居場所を見つけたような気がした。

38歳になった1984年、非政府組織（NGO）の日本キリスト教海外医療協力会（JOCS）から派遣されてパキスタン北西辺境州の州都ペシャワールに赴任する。日本政府から一円の援助も受けない中村の活動を支援するためにNGOペシャワール会が結成された。ハンセン病の治療を中心とする医療活動を展開し、7年後にアフガニスタンで初の診療所を開設する。

凄まじい旱魃でアフガニスタンの農地は砂漠化していった。湯水となり、非衛生的な状況下で赤痢患者が激増する。人道支援の一環として来る日も来る日も治療にあたっていた中村は医療活動だけで

は限界があると痛感した。

一方、2001年9月11日にアメリカ史上最悪の同時多発テロが勃発し、全世界に衝撃をもたらす。ブッシュ政権はイスラム原理主義組織アルカイダを率いるオサマ・ビンラディンを首謀者と断定し、アルカイダを匿っているとしてアフガニスタンへの報復爆撃を開始した。

疫病と貧困と戦乱のなかで中村は「戦争をしている暇はない」「どの場所どの時代でも、いちばん大切なのは命」とあらためて確信する。清廉な水を求めて井戸を掘り、風化した大地に水路を開拓して耕作地をうるおす灌漑事業に着手した。文字どおり泥まみれになって悪戦苦闘する。

専門家の眼から見れば用水路の建設はきわめて無謀な試みだった。最初は流量計算や流路設計の基礎も理解できず高校の数学から学びなおした。やがて資金も道具も限られていた江戸時代の治水技術に着目する。

資金を調達するための講演活動などで帰国した際、福岡県朝倉市で江戸時代に設けられた山田堰に何度も通い、試行錯



現地の人々と対話を重ねる

誤しながら独自の技術を体得していった。近代的工法と違って伝統的工法は現地の人々が自力で流用できるというメリットもあった。多忙なこの時期、中村は小学生の息子を難病で亡くし、母親代わりの姉も失っている。

真心は信ずるに足る

医者でありながら水路の建設に精魂を傾ける中村の姿は日本でも注目された。

2008年に参議院外交防衛委員会に参考

人として呼ばれ、現 澤地久枝による発言録地の情勢について証言する。中村は憲法第9条に守られているという立場から「アフガニスタンにいと軍事力があればわが身を守れるというのが迷信だとわかる。敵をつくらず、平和な信頼関係を築くことが武器よりも大切でいちばんの安全保障だ。戦争で国がよくなることはない」と力説した。

ノンフィクション作家の澤地久枝はこうした中村の姿勢に共感し、彼女を聞き手とする発言録を出版したいと申し出る。中村は「若い人たちへの励ましのメッセージだ」と熱心に頼まれて快諾した。子を持つ親として次世代へ何かを伝えたいという想いがあった。

澤地の綿密なインタビューに基づく労作は『人は愛するに足り、真心は信ずるに足る アフガンとの約束』（岩波現代文庫）と題された。あとがきで澤地は「難



澤地久枝による発言録

民が日常生活へ、ふるさとへ戻る道。働いて生きてゆける道を切りひらくこと。その最大緊急の前提として、沙漠化した農地に水を引くこと。山岳国家アフガン全土で、農地をとりもどす可能性をさぐる必要がある。ことはアフガン一国の問題のようだが、おそらく地球環境の未来にもかかわっている。中村医師と氏を支えた人たちは、マルワリード水路という、小さくても確実な回答を私たちに示し、その保全のために働きつづけている」と中村たちの奮闘が全世界の未来につながっていることを示唆した。

このあとがきに添えて中村は「世界中でグローバル化の功罪がささやかれるが、その不幸な余波をまともに受け続けているのが、この国である。アフガニスタンは、良きにつけ悪しきにつけ、一つの時代の終焉と私たちの将来を暗示している」「時と場所を超え、変わらないものは変わらない。おそらく、縄文の昔から現在に至るまで、そうであろう。私たちもまた時代の迷信から自由ではない。分を超えた権威ある声や、自分を見失わせる享楽の手段に事欠かない。世界を覆う不安の運動—戦争であれ何かの流行で



率先して取水堰を造成

あれ—に惑わされてはならない。もし現地活動に何かの意義を見出すとすれば、確実に人間の実体に肉迫する何ものかであり、単なる国際協力ではなく、私たち自身の将来に益するところがあると思っている。人として最後まで守るべきものは何か、尊ぶべきものは何か、示唆するところを汲んでいただければ幸いである」と綴っている。

世界の一隅を照らす

爆音に脅かされる戦地でのマルワリード用水路の工事は困難を極めた。政情不安、資金不足、国際機関も手をこまねくなかで黙々と山の勾配を見極め、石を並べ、川底をさらう。

クナール川からガンベリー砂漠まで総延長約25kmを超える悲願のマルワリード用水路は2010年、ついに完成した。これで約10万人の農民が暮らしていける。建設中は増水時のクナール川の途方もない水圧に翻弄された。取水口が決壊し、つくっては壊され、補修を繰り返す。人々の災厄がつづく限り、決してあきらめないという使命感が中村を支えた。竣工して貯水池に水が流れ込むと農民たち



マルワリード用水路

の眼から涙が溢れた。

干上がって砂漠化した土地は豊饒な水で息を吹き返す。失われていた生活が人々に戻ってきた。耕地は広がり、作物が実り、灰色の大地は緑色に染まっていく。子供たちは笑い、人々はふたたび生きる力を取り戻し、みずから未来を築き始めた。永年の功績によって中村は名誉市民権を授与され、ペシャワール会の会報に「この仕事が新たな世界に通じることを祈る」と書き記す。

講演活動に際して中村は著書などにサインを求められると照一隅と書き添えた。天台宗の開祖の最澄の言葉で一隅を照らすという意味になる。「命に対する哀惜、命を愛おしむという気持ちで物事に対処すればだいたい誤らない」と語っていた中村は身をもって世界の一隅を照らしていた。

2019年12月4日、東部ナンガルハル州の州都であるジャラーラーバードを車で移動中に武装集団から銃撃を受け、右胸に被弾する。現地の病院に搬送されたものの、重傷のためにアメリカ空軍基地へ搬送される途中、息を引きとった。中村と共に同乗していた運転手や警備員など5人も死亡する。司法解剖の結果、肝臓損傷による失血死と発表された。

アシュラフ・ガニー大統領はただちにテロ事件と断定する。12月5日、アフガニスタンで国民による追悼集会が一斉に行われた。首都カブールではアシュラフ大統領みずから棺を担ぎ、全国から集まった人々が「真の英雄」と書かれた横

断幕を掲げ、ろうそくを灯して行進した。2日後、遺体は空路で日本に搬送された。

後世への最大遺物とは

73歳で凶弾に斃れた中村の宿舎の本棚には常に内村鑑三の講演録『後世への最大遺物』が置かれていたという。内村は聖書の研究を中心に既存の教派に属さない無教会主義を唱えた。日露戦争に際して非戦論を説いている。

講演のタイトルとなった後世への最大遺物とは何か。内村は青年たちにこう語っている。「この世の中は悲嘆の世の中でなくして、歓喜の世の中であるという考えをわれわれの生涯に実行して、その生涯を世の中へ贈物としてこの世を去るということでありませう。その遺物は誰にも遺すことのできる遺物ではないか」と。

この世が悲嘆ではなく歓喜につつまれることを自己の生涯を通じて追求する。アフガニスタンにおける中村の医療活動と水路の建設はまちがいなく後世への最大遺物となった。

たとえこの世を去っても中村の未完の物語はまだ終わっていない。一滴の水が岩を穿つように国境を超えて人々を鼓舞し、勇気づけ、励ましていくだろう。

大地に息づく命の現場へ水を導く水路は人々の希望の象徴だ。悲しみや苦しみや痛みではなく歓びへの願いを込めて未来へ流れていく。

(次号・第3回に続く)



大罪

M・S 会社員(30代)

私が犯罪者となったあの日のことは、今でも鮮明に覚えています。

それは、私が生きている限り決して忘れてはならないことであり、背負っていかねばならない大きな罪です。

ほんの数秒間の自分本位で身勝手な行動が、一瞬にして人の命を奪ってしまいました。

当時の私は、スマホのあるゲームアプリに興味を持っていました。

それは中学生の頃に遊んでいたゲームが最近スマホアプリ用にリメイクされたもので、懐かしさのあまり夢中になっていました。

その日は仕事を終え、帰宅するため通い慣れた道をいつものように運転していると、ふとそのゲームアプリのことが気になりました。

そして運転中でしたが、「通い慣れた道だし、少しくらいの脇見なら大丈夫だろう」という安易で身勝手な判断から、スマホに手を伸ばしゲームアプリを起動してしまっただけです。

直線道路では数秒間スマホを操作し、カーブの手前に来ると前方に視線を戻すという脇見運転を繰り返していたところ、突然「ドン」という大きな音と衝撃がしたので前方に視線を戻すと、フロントガラスにひびが入っていました。

何が起きたか分らぬまま車を停止させ、「まさか人では」と思いつつ車を降りたところ、辺りには車の部品が散乱し、少し離れた

所で人が倒れていました。

この瞬間「まさか」が現実のものになってしまったのです。

被害者のもとに駆け付け、声を掛けました。が全く反応がありませんでした。

救急車を呼び、警察へ連絡し、私は被害者の命が助かることを、ただ、ただ祈ることしかできませんでした。

しばらくすると救急車と警察車両が来て、私はその場で現行犯逮捕され、留置所へ連れていかれました。そして、その日の夜に被害者の方が亡くなったことを知らされました。

私は目の前が真っ暗になり、「大変申し訳ないことをした」という思いで涙が止まりませんでした。

勾留中は事故のショックと取り調べの疲れで、1週間ほどともに食事もできず、寝ることさえできない状態でした。

謝罪の手紙を書き、弁護士を通じて御遺族に渡そうとしましたが、受け取りは拒否されませんでした。

その後私は保釈され、御遺族に謝罪の機会を設けていたのですが、それも叶わず、いまだに何一つ謝罪ができていません。

事故から2か月後に裁判が始まりました。被害者参加制度により、被害者の奥様が意見を陳述をされ、「あなたは数年経てば、また家族と会うことができます。でも私達はもう二度と会うことができません。この気持ちがかかりますか」と言われたことを一生忘れるこ

とはできません。

判決では、自動車運転過失致死罪で懲役2年4か月の実刑判決を言い渡されました。

被害者の方は突然命を奪われたのですから、それに対して実刑判決は当然のことだと思います。それを御遺族も強く望まれていたので私は控訴せず、判決を受け入れることにしました。

市原刑務所に収容されて1年半が経ちました。償いは「刑に服したから」、「示談が成立したから」終わるというものではありません。服役は被害者や御遺族に対する謝罪ではありません。出所してから本当の償いが始まると思っています。

御遺族の心情を考慮し、心の傷が少しでも和らぐような償いを果たして行きたいと考えています。

私が犯した罪の重大さ、奪ってしまった命の重さ、被害者の未来を奪い、御遺族の一生を狂わせてしまったという事実を一日たりとも忘れずに、まっとうに生きていこうと思います。

車はハンドルを手にする人の常識のない行動により、一瞬にして凶器に変わってしまいます。免許を持ち、ハンドルを握る人は命の重さを認識し、慎重な運転を心掛けなければなりません。

最後になりますが、私と同じ過ちを犯してしまう方がなくなることを心より願っています。

社名・住所・電話番号・FAX番号変更

△ 新) 株式会社クラフティア 旧) 株式会社九電工
〒812-0888 福岡市中央区天神1-1-1 TEL 050-6861-1523 FAX 092-525-1169

社名・代表者変更

△ 新) 有限会社ONE WATER 河野 公亮 旧) 有限会社佐藤商会 勝尾 真至

代表者変更

△ 新) 有限会社伊藤商会 栗原 義光 旧) 伊藤 暉

組 合 通 信

7-33号 11月21日 12月の請求締日について
7-34号 11月21日 令和8年度新年賀詞交歓会のご案内について
7-35号 12月16日 国通知に伴う福岡市水道給水条例の改定について
7-36号 12月18日 年末年始における道路舗装状況に関して
7-37号 1月 6日 令和8年度福岡市排水設備工事責任技術者の更新登録申請について
7-38号 1月14日 給水装置工事(穿孔業務)の施工店公募について
7-39号 1月14日 単価契約漏水発生給水管修理請負工事の施工店公募について
7-40号 1月14日 給排水メンテナンスセンターの施工店公募について

組 合 の う ご き

12月 2日 福岡県職業能力開発協会技能検定実技試験水準調整会議が福岡リーセントホテルで開催され松本上水道部長理事が出席した。
12月 8日 正副理事長会が組合会議室で開催された。
12月 8日 定例理事会が組合会議室で開催された。
12月12日 全管連正副会長、ブロック長、部長会が東京で開催され藤理理事長が出席した。
12月16~19日 令和7年度技能検定実技試験採点が福岡人材開発センターで行われ松本上水道部長理事(技能検定員)が出席した。
12月21日 令和7年度技能検定実技試験採点がポリテクセンター飯塚で行われ松本上水道部長理事(技能検定員)が出席した。
12月23日 津山税理士による会計精査
12月29日 仕事納め
1月 5日 仕事始め
1月 8日 定例理事会が西鉄ソラリアホテルで開催された。
1月 8日 新年賀詞交歓会が西鉄ソラリアホテルで開催された。

本年も「せせらぎ」をご愛読いただきますようお願い申し上げます。

編集人：広報・企画・情報委員会

委員長 石井 純友 事務局 財津 駿人
副委員長 山下 裕美 事務局 藤野あかり
委員 八木 龍治
委員 藤岡 昭太
委員 高野 学
委員 大久保秀則